

(様式3)

会 議 の 要 旨 (議 事 録)

会 議 の 名 称	令和7年度第1回文化財保護審議会		
開 催 日 時	令和7年5月21日(水) 午前10時	開 催 場 所	鳥栖市役所 3階第1会議室
出 席 者 数	委員6名 事務局 名	傍 聴 人 数	0人
議 題	(1) 令和6年度事業報告について (2) 令和7年度事業計画について (3) 新指定文化財候補について		
配 布 資 料			
所 管 課	(課名) 生涯学習課 文化財係 (電話番号) 0942-85-3695		

議題 1 令和 6 年度事業報告について

〈事務局から説明〉

〈質疑応答〉

○田代太田古墳について

委員：田代太田古墳一般公開時の年間来場者数はどれほどか。

事務局：田代太田古墳は内部環境の保全のため、直近 5 年は一般公開を行っていない。今後、一般公開の再開に向けて取り組んでいきたい。

委員：知名度向上のため、一般公開の回数を増やすべきでは。

事務局：以前は一般公開を春と秋の年 2 回行っていたが、今後の一般公開については内部環境への影響を加味し検討したい。

委員：現在古墳内はどのような状況か。

事務局：内部環境は良好で、玄室と中質の壁画に退色は確認されていない。ただし前室にカビなどがみられ、入室のたびに除去をしている。今後も観察を続けていきたい。

○田代太田古墳内部の照明について

委員：古墳内の照明はどのようなになっているのか。

事務局：石室内と管理室で照明の色濃度を 4000K と 5000K で使い分けを行っている。また、壁画の劣化を防ぐために光を拡散して古墳に当てている。

委員：内部照明を 4000K（暖色寄り）と 5000K（寒色寄り）と色温度（ケルビン数）の異なる照明を使い分けたのはどうしてか。

事務局：石室内の照明については、直近の整備事例である宮若市の竹原古墳の照明の色温度を参考にした。保護施設の照明は標準仕様で昼光色とされる 5000K を採用した。

○戦時関係資料の収集と活用について

委員：太平洋戦争の終結 80 年にあたり、戦時関係資料の収集とその活用の予定はあるか。

事務局：市ホームページを使った広報と、積極的な収集を行っていきたい。

○立石開拓古墳群について

委員：出土遺物の種類は何か。古墳群の造営過程の検討を踏まえた報告書作成を行ってほしい。

事務局：遺物は出土しているが少数である。

議題 2 令和 7 年度事業計画について

〈事務局から説明〉

〈質疑応答〉

○鳥栖歴史文化交流展示室開館 1 周年記念イベントについて

委 員：鳥栖歴史文化交流展示室の開館 1 周年記念イベントはどのようなものを計画しているのか。

事 務 局：開館 1 周年記念イベントの開催は夏休み期間となるので、昨年行ったミニ銅鐸づくりのような子供向けイベントと考えている。詳細は今後検討する。

議題 3 新指定文化財候補について

〈事務局から説明〉

〈質疑応答〉

○肥前狛犬について

委 員：肥前狛犬にはどのような特徴があるのか

委 員：肥前狛犬は唐獅子型の狛犬が登場する以前に作られたもので、サイズが 30 c m 程と小さく素朴な作りである。ただし、鳥栖市内の肥前狛犬は 45 c m 程と若干大きい。また、鳥栖八坂神社の肥前狛犬は肥前鍋島藩の領地外で見られる点が興味深い事例である。

委 員：肥前狛犬と並行して、その他の新指定文化財候補に関しても調査計画を立ててほしい。

○神辺の獅子舞について

委 員：神辺の獅子舞の今後の開催体制はどうか、中断の懸念はないか。

事 務 局：前回令和 5 年に執り行われており、保存会からは 3 年後の次回は開催予定と伺っている。

委 員：今後さらに民俗芸能の担い手不足が懸念されるため、行政としても何らかの支援をしてほしい。

委 員：保存団体の協議会設立も支援の一助と考える。

○まとめ

委 員：新指定文化財候補物件として、肥前狛犬 3 件に絞り込むこととする。事務局にはさらに調査を進めてもらい、次回審議会では、その結果をふまえ検討を深めたい。

委 員：これをもちまして全審議事項を終了といたします。

〈閉会〉